

『こうすればできる「純木造3階建て事務所建築」中大規模木造の検討』正誤表

2022年3月

一社) 日本木造住宅産業協会
技術開発部

■正誤表

番号	ページ	箇所	誤	正
1	P11	[図1.3]のタイトル	防火壁「壁等」壁タイプ(右)、防火壁「壁等」コアタイプ(左)	[図1.3]地域ごとの面積・階数による防耐火構造種別
2	P40	[図3.9]中、Y1、Y1+2,500通りの耐力壁の表記	W 2	W 3
3	P044	[表3.7]構造用集成材の単価の例の表中	レッドウッド・ホワイトウッド構造用集成材	レッドウッド構造用集成材
4	P044	[表3.8]表中、C1輸入材の断面寸法	C 1 = 210 × 330	C 1 = 210 × 420
5	P044	[表3.8]表中、G1輸入材の断面寸法	G 1 = 150 × 570	G 1 = 180 × 570
6	P046	文中(口)の「あらわしの柱」の断面寸法	210 × 330	210 × 420
7	P046	文中(口)の「大梁1」の断面寸法	150 × 570	180 × 570
8	P046	文中(口)の「大梁1」の1行目	150mmで統一	180mm以下と
9	P 055	[図4.7]図中「30mm以上」の寸法線の位置	くつずりの最大高さを「30mm以上と規定」	くつずりの最小高さを「30mm以上と規定」